

文化財建造物の 災害復旧の現状と課題



阪神淡路大震災後、日本建築学会建築歴史・意匠委員会は、文化財建造物の防災対策の研究ならびにその実践に取り組んできた。特に災害時の文化財建造物の被災調査については幾度も議論され、ICT技術を駆使した調査システムが構築され、関連団体と協力しつつ、被災調査を実施できるようになってきた。その一方で文化財建造物の保護といった観点からは、災害後の復旧が重要となるにもかかわらず、その方法等に関する検討は十分であったとは言いがたい。そこで本シンポジウムでは災害後の復旧に焦点をあてて、これまで行われてきた手法を整理するとともに、今後に向けた対応を議論していく。

2024.1.25(木)
16:00-19:00

開催方法：会場開催およびオンライン同時配信
※後日、録画映像の配信を予定しております

会場：①工学院大学 新宿キャンパス 20階
第6会議室（東京都新宿区西新宿1-24-2）
②Zoomウェビナーを用いた同時配信

参加費：無料

主催：日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 文化遺産災害対策小委員会
日本建築学会 建築歴史・意匠委員会 保存制度WG

本シンポジウムに関するお問合せ先：

東京家政学院大学 大橋竜太 (ohashi@kasei-gakuin.ac.jp)

プログラム：

- ・趣旨説明（大橋竜太）
- ・講演①（渡辺斉）
中越大震災復興の経験と教訓
～復興基金による歴史的建造物再建への取り組み～
- ・講演②（遠藤一善）
東日本大震災以降の福島県の対応と課題
- ・講演③（山川満清）
熊本地震の登録有形文化財制度と連携した復旧支援の取組み
- ・講演④（古川保）
伝統構法を救済したグループ補助金の有効な活用法と改善を
- ・討論
- ・まとめ（後藤治）

参加申込方法： ※1/22(月)申込締切

下記URLまたはQRコードよりお申込みください。
後日、参加に関するご案内をメールにてお送りいたします。

<https://forms.gle/wFfkWiXmzjhxCRcdA>



本シンポジウムは、令和5年度科学研究費補助金
「気候変動にもなう文化財防災体制の再検討に関する調査研究」
(挑戦的研究(萌芽))の成果の一部である。

科研費
KAKENHI